

# Go Global 2012✈

東大生

国際交流

海外留学・海外インターンシップ・国際ボランティア

# 東大生 × 国際交流 Go Global 2012 ✈️

## 東大生 × 国際交流

世界では、急速なグローバル化、情報化が進んでいます。民族紛争やテロ事件の頻発、経済格差の拡大、地球温暖化など、安全や豊かさへの脅威が増大する一方、文化、環境、医療、食糧など多くの領域で、国際的な視野と協調のもとに持続可能な人類社会を形成していこうとする動きが急速に強まっています。大学もその例外ではありません。東京大学は、国際的な広い視野を有し、強靱な開拓者精神を持ちつつ、公共的な責任を自ら考え行動するタフな人間を育成することでこのグローバル時代に貢献していきます。

東京大学の将来構想である「FOREST2015」は、「国際化」を重点テーマとして掲げ、グローバル・キャンパスの形成を目指して様々な取り組みを推進しています。将来的には全ての学生に海外留学・派遣を含む国際的な学習・研究経験を積んでもらうことを目指しており、今後さまざまな国際的な教育プログラムを推進していきたいと考えています。協定校への交換留学の場合には、半年～1年間にわたって国際経験を積むことができ、ほとんどの場合において留学先での授業料は免除されます。留学先で取得した単位の取り扱いについては、進学する学部によって手続きが異なりますので、各学部の相談窓口であらかじめ確認してください。交換留学以外にも海外の大学での語学プログラムやサマースクールなどもあります。今後協定大学の数や大学主催のプログラムも順次増やしていく予定です。また、海外の大学に直接応募する、学外の団体のサービスを利用するなどの方法で個人留学もできますので、いろいろな機会を見つけてチャレンジして下さい。さらに、留学に加えて海外インターンシップ、国際ボランティアといった多様な機会の情報提供も強化していきます。これらの国際体験を通し多様な価値観に触れ、コミュニケーション力と社会のフロントを切り拓く行動力を身につけてください。

一方、東京大学のキャンパスには現在約3,000人の留学生が学んでいます。皆さんにはこれらの留学生と積極的に交流していただきたいと思います。国内外におけるバックグラウンドが異なる仲間との出会いは、皆さんの学生生活を豊かなものにするでしょう。

皆さんが国際交流への一步を踏み出せるよう、サポート体制の強化も図っています。所属する学部・研究科の国際交流担当部署をはじめ、国際センター、本部国際交流課などが支援します。皆さんが多様な国際交流の機会に触れ、真の教養を備えた「タフな東大生」になることを期待しています。

2012年4月1日  
理事 江川 雅子



国際体験を通し多様な価値観に触れ、コミュニケーション力と社会のフロントを切り拓く行動力を身につけてください。

## contents

01



留学  
海外で学ぶ

P.04 >>>

02



海外インターンシップ  
自分をためる

P.14 >>>

03



国際ボランティア  
世界に貢献する

P.16 >>>

04



関連情報  
情報を集める

P.20 >>>

# 東大生 × 国際交流 Go Global 2012

## 海外で学ぶ



## 01 留学

留学の目的、留学したい国、留学期間などによって、さまざまなかたちで留学を実現することができます。東京大学を通して応募する協定校への交換留学や各種短期プログラムと、自分で直接希望大学へ応募する個人留学などの方法があります。留学を実現させるため、留学の目的を明確にし、早目に留学の準備にとりかかることが重要です。

### 1 学期～1年の留学（大学を通して応募）

| プログラム名                      | 内容   | 期間       | 対象・条件                                    |
|-----------------------------|--|----------|--|
| 協定校への交換留学<br>(全学協定)         | 全学協定校への交換留学  | 1 学期～1 年 | 派遣先大学の受け入れ条件を満たすこと。                      |
| 協定校への交換留学<br>(部局間協定)        | 部局間協定校への交換留学   | 1 学期～1 年 | 派遣先大学の受け入れ条件を満たすこと。                      |
| AIKOM<br>(Abroad in Komaba) | 教養学部と交換留学協定を結んでいる海外の諸大学から1年間教養学部後期課程に留学生を受け入れ、それに対応する形で教養学部後期課程の学生を1年間派遣する交換留学制度 | 1 年      | 教養学部後期課程の学生であること。その他詳細は教養学部担当部署へご確認ください。 |
| 協定校以外への留学                   | カリフォルニア大学パークレー校への留学 (IIS-ISP プログラム)  | 1 学期～1 年 | 学部生・大学院生対象。協定校ではないため、授業料の負担も必要となる。       |

### 3 ヶ月未満の短期留学（大学を通して応募）

| 3 か月未満の留学（大学を通して応募） | 内容                |
|---------------------|-------------------|
| 国際大学連合が実施するプログラム    | 詳細は P8 を参照してください。 |
| 海外の有力大学が実施するプログラム   | 詳細は P8 を参照してください。 |
| その他民間団体による派遣プログラム   | 詳細は P8 を参照してください。 |

### その他個人応募の留学

| その他個人応募の留学                           | 内容  |
|--------------------------------------|---|
| 海外の大学、民間団体等が実施・募集するプログラムによる留学（個人手続き） | 詳細は P9 を参照してください。数週間から1 学期、1 年間で自分の希望に合わせた留学が可能となります。各自で情報収集、応募、留学準備まで進める必要があります。 |

※東京大学を通して応募する留学プログラムの数には限りがあります。世界の有力大学等が実施する個人応募型の留学プログラムも数多くあります。

### 留学を成功させるポイント

- 1 留学の目的を明確にする**  
語学力を向上させたい、国際的な広い視野を身につけたい、専門分野またはそれ以外の分野を学びたいなど留学の目的を明確にしてください。
- 2 自分に合った留学方法を選択する**  
留学方法（交換留学、語学留学など）と留学期間（短期・長期）を選択してください。
- 3 留学のための情報を集める**  
留学手続きや、語学試験、必要書類等の情報を集めてください。
- 4 語学試験を受ける**  
留学先が求める語学試験を受け、その基準に達する必要があります。
- 5 成績について**  
学内選考では、学業成績・語学力・勉学（研究）計画・面接等が総合的に考慮されます。

# 1 学期～1 年の留学（大学を通して応募）

## 交換留学制度について

- 1 学期～1 年の間、東京大学が学生交流覚書を締結している海外の大学(以下、「協定校」とする)において、科目を履修したり、研究指導を受けたりすることができます。
- 留学期間中、協定校において授業料は徴収されず、東京大学規定の授業料を東京大学に納めます。(留学期間中の身分は「休学」ではなく「留学」となります。)
- 協定校において取得した単位は、学生が所定の手続きを行い、所属する学部・研究科等(以下「部局」とする)で認められた場合、東京大学の単位として認定されます。(認定の基準は、部局により異なるため、留学時に所属する部局の担当部署に事前に相談する必要があります。)

**留学期間** 1 学期間あるいは 1 年間

**応募方法** 所属部局から必要書類を入手し、所属部局へ提出

## 交換留学のメリット

- ① 東京大学の協定校への留学だから安心**  
→ 東京大学の協定校は評価の高い教育機関です。事前に多くの情報が得られ、現地では、質の高い教育ときめ細かいサポートを受けられます。
- ② 留学先の大学では授業料が免除**  
→ ただし、留学期間中も東京大学の授業料は納める必要があります。
- ③ 留学先の大学で取得した単位の互換が可能**  
→ 単位の互換は所属部局による認定が必要です。所属部局や修得した科目によっては互換されない場合もありますので事前によく相談してください。
- ④ 留学先大学では交換留学生として優遇される**  
→ “交換留学生” という特別な立場で留学するので、宿舎を優先的に確保してもらえなど、特段の配慮をもらえるケースが多いです。
- ⑤ 交換留学は休学扱いにならない**  
→ 学籍に関して、“休学”ではなく“留学”扱いとなるので、留学期間中も在学期間としてカウントされます。

## 協定校（全学レベル）

イエール大学（米国）、プリティッシュ・コロンビア大学、トロント大学（カナダ）、ケルン大学（ドイツ）、ヘルシンキ大学（フィンランド）、エコール・ポリテクニーク（フランス）、サンクトペテルブルグ大学（ロシア）、浦項工科大学校（韓国）、国立台湾大学（台湾）、シンガポール国立大学（シンガポール）、上海交通大学（中国）

※協定校は 2012 年 4 月以降、増加する予定です。

## 協定校（部局レベル）

所属する部局においても海外の大学と協定を締結し学生交流を実施している場合がありますので、詳細は所属部局の担当部署にお問い合わせください。

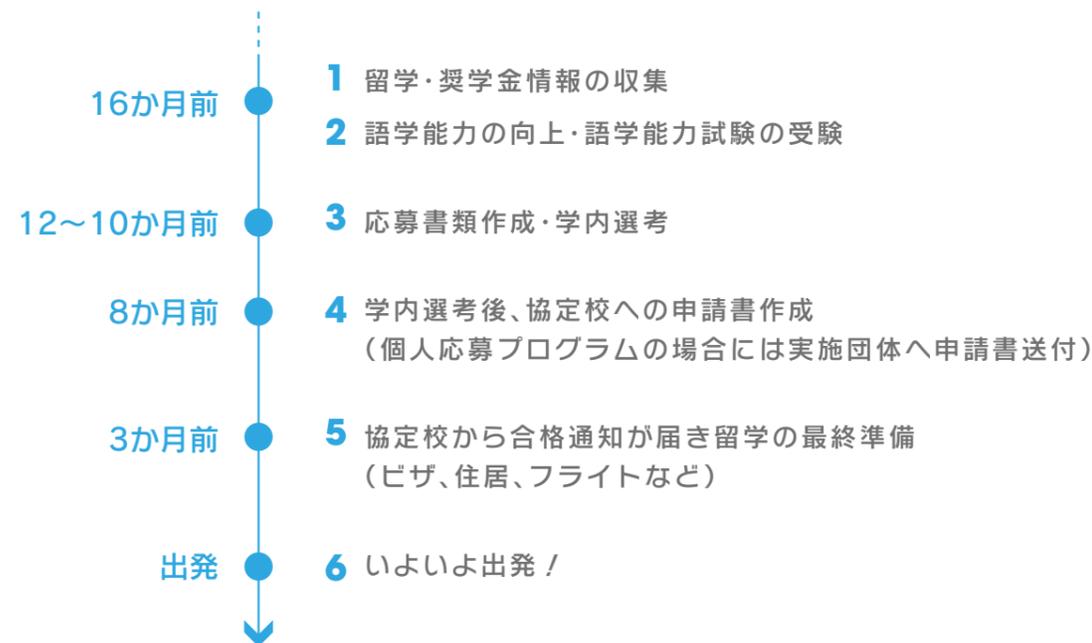
## 協定校以外への留学

IIS-ISP（カリフォルニア大学バークレー校）

→カリフォルニア大学バークレー校の Institute of International Studies が実施するプログラムです。

# 留学へのロードマップ

（一般的な交換留学の場合）



| 協定校一覧（全学レベル）    |        | (2012 年 4 月現在) |
|-----------------|--------|----------------|
| 協定校名            | 国・地域   | 対象             |
| イエール大学          | 米国     | 大学院生           |
| プリティッシュ・コロンビア大学 | カナダ    | 学部生・大学院生       |
| トロント大学          | カナダ    | 学部生・大学院生       |
| ケルン大学           | ドイツ    | 学部生・大学院生       |
| ヘルシンキ大学         | フィンランド | 学部生・大学院生       |
| エコール・ポリテクニーク    | フランス   | 学部生・大学院生       |
| サンクトペテルブルグ大学    | ロシア    | 学部生・大学院生       |
| 浦項工科大学校         | 韓国     | 学部生・大学院生       |
| 国立台湾大学          | 台湾     | 大学院生           |
| シンガポール国立大学      | シンガポール | 学部生            |
| 上海交通大学          | 中国     | 学部生・大学院生       |

※協定校によって異なりますが、毎年おおよそ 2～10 名を各校に交換留学生として派遣することができます。

※協定校は、2012 年 4 月以降、増加する予定です。

## 3ヶ月未満の短期留学（大学を通して応募）

### 3ヶ月未満の留学について

東京大学が加盟する国際大学連合、海外の有力大学などが夏期等に実施する3ヶ月未満の短期留学プログラムです。期間が短い分費用も低く抑えることができます。

**留学期間** 3カ月未満

**応募方法** 所属部局から必要書類を入手し、所属部局へ提出

### 3ヶ月未満の短期留学のメリット

- ①期間が短い分、費用を抑えられる
- ②夏季休業等を利用するため、卒業時期を遅らせる必要がない
- ③短期でも海外の文化を味わえる
- ④語学を学ぶ刺激になる

| 国際大学連合が実施するプログラム(大学を通して応募)            |  |          |         |         |
|---------------------------------------|--|----------|---------|---------|
| プログラム名                                | 派遣先大学  | 対象       | 期間      | 応募方法    |
| 東アジア研究型大学協会(AEARU) 学生サマーキャンプ          | 浦項工科大学(2010年度)   | 学部生      | 2週間     | 所属部局へ応募 |
| 環太平洋大学協会(APRU) 博士課程学生会議               | 清華大学(2011年度)   | 大学院生(博士) | 1週間     | 所属部局へ応募 |
| 環太平洋大学協会(APRU) 学生サマープログラム             | 浙江大学(2011年度)   | 学部生      | 2週間     | 所属部局へ応募 |
| 国際研究型大学連合(IARU) Global Summer Program | オーストラリア国立大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、シンガポール国立大学、北京大学、UCバークレー校、ケンブリッジ大学、コペンハーゲン大学、オックスフォード大学、イェール大学 | 学部生 大学院生 | 2週間～1か月 | 所属部局へ応募 |
| 国際研究型大学連合(IARU) サステイナブルキャンパス交換学生      | 同上   | 学部生 大学院生 | 6週間     | 所属部局へ応募 |

| 海外の有力大学が実施するプログラム(大学を通して応募)                             |          |     |         |
|---|----------|-----|---------|
| プログラム名  | 対象       | 期間  | 応募方法    |
| イェール大学夏期英語研修プログラム(ELI)                                  | 学部生・大学院生 | 6週間 | 所属部局へ応募 |
| イェール大学サマーセッション(YSS)                                     | 学部生      | 5週間 | 所属部局へ応募 |
| CSPI Presidential Fellows Program (米国での研修プログラム(米国政治関係)) | 学部生・大学院生 | 2週間 | 所属部局へ応募 |
| パリ政治学院(Sciences Po)春季短期留学プログラム                          | 学部生・大学院生 | 4週間 | 所属部局へ応募 |

| その他民間団体等によるプログラム(大学を通して応募) |          |     |         |
|----------------------------|----------|-----|---------|
| プログラム名                     | 対象       | 期間  | 応募方法    |
| ストックホルム国際青年科学セミナー          | 学部生・大学院生 | 1週間 | 所属部局へ応募 |
| AEON 1% CLUBアジア大学生交流フォーラム  | 学部生      | 1週間 | 所属部局へ応募 |

## その他個人応募の留学

### 個人応募の留学について

個人応募の留学は、海外の大学、民間団体等が実施・募集するプログラムに各自で応募し参加する留学です。東京大学を通して応募する留学プログラムの数には限りがありますが、その他にも世界の有力大学等が実施する個人応募型の留学プログラムが多くあります。

### 個人応募の留学のメリット

- ①選択肢が多い→東京大学の協定校に希望する留学先がない場合等には、希望の留学先を選ぶことができます。
- ②留学時期を選ぶことができる→東京大学が提供する留学プログラムの時期と希望の留学時期が合わない場合、自分の都合に合わせて留学開始時期・期間を選ぶことができます。
- ③留学の種類を自由に選べます→夏季休業を利用した語学研修、海外大学の正規課程への留学など留学の種類を自由に選べます。

### 個人応募の留学の注意点

個人応募の留学はすべて自己責任にて進めることとなりますので留学期間や費用など予め十分に情報収集が必要です。

| その他個人応募の留学(個人手続き)     |                          |   |   |
|-----------------------|--------------------------|---|---|
| 1学期～1年のプログラム          |                          |   |   |
| 国・地域                  | 大学名                      | プログラム名  | URL   |
| 米国                    | イリノイ大学                   | 小山八郎記念奨学金留学生  | <a href="http://www.illini-club.jp/scholar.html">http://www.illini-club.jp/scholar.html</a>   |
| 米国                    | ベイツ大学                    | 平沢和重奨学金留学生  | <a href="http://www.bates-hirasawa.info/">http://www.bates-hirasawa.info/</a>   |
| 米国                    | UCバークレー校                 | Concurrent Enrollment Program (留学生向けExtension Program)                        | <a href="http://extension.berkeley.edu/info/concurrent.html">http://extension.berkeley.edu/info/concurrent.html</a>   |
| 米国                    | UCサンティエゴ校                | University & Professional Studies (UPS) (留学生向けExtension Program)              | <a href="http://extension.ucsd.edu/department/elp/coursesprograms/index.cfm?vAction=universityprofessionalstudies">http://extension.ucsd.edu/department/elp/coursesprograms/index.cfm?vAction=universityprofessionalstudies</a>                         |
| 米国                    | UCサンタバーバラ校               | University Immersion Program (UIP) (留学生向けExtension Program)                   | <a href="http://extension.ucsb.edu/static/international/internationalStudies.jsp">http://extension.ucsb.edu/static/international/internationalStudies.jsp</a>   |
| 米国                    | UCサンタバーバラ校               | Summer Program for International Santa Barbara (SPIS)(留学生向けExtension Program) | <a href="http://extension.ucsb.edu/static/international/summer_program.jsp">http://extension.ucsb.edu/static/international/summer_program.jsp</a>   |
| 米国                    | UCデービス校                  | Bridge Program(留学生向けExtension Program)  | <a href="http://extension.ucdavis.edu/unit/international_english/bridge.asp">http://extension.ucdavis.edu/unit/international_english/bridge.asp</a>   |
| 英国                    | ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE) | The London School of Economics and Political Science - The General Course     | <a href="http://www2.lse.ac.uk/study/generalCourse/home.aspx">http://www2.lse.ac.uk/study/generalCourse/home.aspx</a>   |
| 英国                    | ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン        | Affiliate Programmes in Political Science and International Relations         | <a href="http://www.ucl.ac.uk/spp/teaching/affiliateug">http://www.ucl.ac.uk/spp/teaching/affiliateug</a>   |
| カナダ                   | クイーンズ大学                  | 高円宮記念クイーンズ大学留学奨学金プログラム  | <a href="http://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/study-etudie/scholarships-takamado-bourses.aspx?lang=jpn&amp;view=d">http://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/study-etudie/scholarships-takamado-bourses.aspx?lang=jpn&amp;view=d</a> |
| フランス                  | 指定されたフランスの大学             | クレティ・アグリコル/仏外務省共同奨学金  | <a href="http://www.ambafrance-jp.org/spip.php?article4310">http://www.ambafrance-jp.org/spip.php?article4310</a>   |
| 3ヶ月未満のプログラム(サマープログラム) |                          |   |   |
| 国・地域                  | 大学名                      | プログラム名  | URL   |
| 米国                    | ハーバード大学                  | Harvard Summer School   | <a href="http://www.summer.harvard.edu/">http://www.summer.harvard.edu/</a>   |
| 米国                    | コロンビア大学                  | Columbia University Summer Session  | <a href="http://ce.columbia.edu/Summer-Sessions">http://ce.columbia.edu/Summer-Sessions</a>   |
| 米国                    | シカゴ大学                    | The University of Chicago Summer Session                                      | <a href="https://summer.uchicago.edu/">https://summer.uchicago.edu/</a>   |
| 米国                    | スタンフォード大学                | Stanford University Summer Session  | <a href="http://summer.stanford.edu/">http://summer.stanford.edu/</a>   |
| 米国                    | UCバークレー校                 | Berkeley Summer Sessions  | <a href="http://summer.berkeley.edu/">http://summer.berkeley.edu/</a>   |
| 米国                    | UCサンティエゴ校                | UC San Diego Summer Session   | <a href="http://summersession.ucsd.edu/">http://summersession.ucsd.edu/</a>   |
| 米国                    | UCロサンゼルス校                | UCLA Summer Session   | <a href="https://www.summer.ucla.edu/">https://www.summer.ucla.edu/</a>   |
| 英国                    | オックスフォード大学               | Oxford University Summer School for Adults                                    | <a href="http://www.conted.ox.ac.uk/courses/summerschools/oussa/index.php">http://www.conted.ox.ac.uk/courses/summerschools/oussa/index.php</a>   |
| 英国                    | ケンブリッジ大学                 | University of Cambridge Summer Schools  | <a href="http://www.ice.cam.ac.uk/courses/summer-schools">http://www.ice.cam.ac.uk/courses/summer-schools</a>   |
| 英国                    | ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE) | LSE Summer School   | <a href="http://www2.lse.ac.uk/study/summerSchools/summerSchool/Home.aspx">http://www2.lse.ac.uk/study/summerSchools/summerSchool/Home.aspx</a>   |
| カナダ                   | トロント大学                   | University of Toronto International Summer Program                            | <a href="http://www.isprogram.utoronto.ca/">http://www.isprogram.utoronto.ca/</a>   |
| カナダ                   | マギル大学                    | Summer Studies  | <a href="http://www.mcgill.ca/summer/">http://www.mcgill.ca/summer/</a>   |
| 韓国                    | ソウル国立大学                  | International Summer Institute  | <a href="http://www.useoul.edu/admission/adm0601.jsp">http://www.useoul.edu/admission/adm0601.jsp</a>   |
| 中国                    | 香港大学                     | HKU Summer Programme  | <a href="http://www.als.hku.hk/summer/2012/">http://www.als.hku.hk/summer/2012/</a>   |
| 台湾                    | 国立台湾大学                   | Summer Program  | <a href="http://www.oia.ntu.edu.tw/oia/index.php/doc/view/sn/952/block/335/lang/en">http://www.oia.ntu.edu.tw/oia/index.php/doc/view/sn/952/block/335/lang/en</a>   |

## 全学交換留学

氏名：木下 恵里

所属学部：教養学部

留学開始時の学年：4年

渡航先国名：カナダ

留学先：プリティッシュ・コロンビア大学

滞在期間：2011年8月～2011年12月（4か月）



## カナダへの留学

私は、2011年9月から4ヶ月間、卒業論文執筆の資料収集および、研究テーマに関連した授業を受講するためにカナダのプリティッシュ・コロンビア大学へ留学しました。この大学がある町、バンクーバーは大変住みやすいところで、近郊に観光名所も沢山あります。とくにカナダは自然が美しく、私は週末ハイキングに行ったり、公園に出かけたり、また大学からバスで2時間の距離にあるウイスラーというスキーリゾートにも行きました。私は、大学のキャンパス内の寮に住んでいました（寮の名前：Walter Gage Residence）。一人部屋ですが、キッチンやリビングルームは6人でシェアをします。

## 授業スタイル

授業については、私は映画研究の授業を受講しました。内容はホラー映画、1960年代以降のアメリカ映画、カルト映画など様々です。一般的に授業は講義スタイルとセミナースタイルのものがあり、セミナーの方では講義よりもディスカッションやプレゼンテーションに重きがおかれています。予習は基本的にはリーディングが宿題となり、授業によってはかなり多くの分量を読む必要が出てきます。私の受講していた授業では、リーディングの課題が多かったため日々沢山のレポートを書いていました。課題に関しては授業により形式が異なります。はじめのころはリーディングに追いつくのが大変かもしれませんが、慣れてくれば要領がつかめると思います。なか学習面で困ったことがあれば、とにかく授業の教授に相談してみることをおすすめします。大変親切に相談にのってくれると思います。私は最初、英語でのディスカッションに慣れるのが大変でしたが、自分で目標を立て（毎回のディスカッションで必ず発言するようにするなど）その目標をひとつずつクリアしていくことで、上達できたと感じました。

## 留学を考えている皆さんへ

留学は、一生の思い出になる本当に貴重な機会だと思います。日本から一歩出てみるのは勇気があることでもあります。絶対に後悔はしないと思います。ぜひ海外に出て沢山のひとたちと出会い、日本を外から見つめてみてください。ありきたりなようですが、留学をすることで視野が広がり、今までとちがった自分を発見できるのではないかと思います。



## 個人留学

氏名：仲田 健治

所属学部：経済学部

留学開始時の学年：3年

渡航先国名：英国

留学先：ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）

滞在期間：2010年9月～2011年6月（9か月）



## はじめに

私は英国のロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）に留学しました。経済学部での3年次夏学期終了後、一年間休学し、LSE独自のGeneral Courseと呼ばれるプログラムを利用した留学です。

## プログラム概要

General Courseは、英国外の大学に通う学部生の為に作られた一年間の聴講プログラムです。聴講生という身分であっても、正規の学生と全く同様に授業を受け、学年末試験も受験します。毎年世界中から約300名の留学生を受け入れています。約8割は米国の大学からの留学生で、日本の大学からの留学生はとてども少なく、2名しかいませんでした。

## 授業内容

英語圏の他大学と同様、LSEではQualitative（定性的）とQuantitative（定量的）という表現で授業を区別します。日本では文系に含まれる経済学はQuantitativeに入るなど若干の違いがありますが、文系・理系とほぼ同じ区分です。文系科目は書籍や論文などを読むことが予習として課されるのに対し、理系科目ではクラスの前に問題演習を行うことが求められるなど、文・理で授業形態も若干異なります。両者で共通しているのは講義よりもクラスに重点を置いている点です。文系科目ではディスカッション、理系科目では問題演習の答え合わせを行い、トピックへの理解を深めます。

## 課題・試験

毎週リーディングや問題演習が課されますが、それに加えて、各学期の半ばと終盤に大きめの課題が出されます。文系科目では1,500～2,000語の小論文、理系科目では過去の試験問題などが典型的です。クラスティーチャーの採点とコメント付きで返却されるので、授業の理解度を測る良い機会になります。また、学年末に行われる試験は、各科目3時間（まれに2時間）で、一年間の授業内容全てが範囲です。素点をもとに絶対評価で成績が決まり、General Courseの学生にも正規生と同様、7月中旬に成績が通知されます。

## おわりに

日本の大学から学部生のうちに（特に、大学間協定の交換留学以外で）留学するという事例は非常に少ないようです。最近少しずつ定着してきたGap Yearという言葉があるように、欧米では一年間海外の大学に通うということがごく一般に行われ、各大学も多彩なプログラムを用意しています。学部生のうちに留学するか、学部卒業後大学院へ留学するか、よく考えるべきだとは思いますが、Gap Yearを取るという事も、国際感覚を養うという点で有力な選択肢の一つであることは間違いありません。この体験記が、留学について考え、調査する端緒となれば、大変光栄に思います。

## イエール大学夏期英語研修プログラム（ELI）

氏名：小島 隆利

所属学部：工学部

留学開始時の学年：4年

渡航先国名：アメリカ

留学先：イエール大学

滞在期間：2011年6月～2011年8月（7週間）



## 異文化体験

6週間のプログラム中、学生たちは皆レジデンシャルカレッジと言われる図書館や食堂や住居が一体となった建物で暮らしました。学生全員が寮に住んで24時間を共にするという体験は、日本ではあまり馴染みのない、アメリカのキャンパスライフの特徴だと思います。寝食を共にしていくうちに、雑談から政治や経済、あるいは人種問題などいろいろなトピックについて議論する機会があり、非常に刺激を受けました。さらに、週末にはニューヨークやボストンに行き、メジャーリーグやミュージカルを見たり、MITやHarvardといった大学を見学したりと、様々なアメリカ文化を体験しました。

## 英語への取り組み

英語に対して真摯に取り組む経験が出来た事も、大変印象的でした。具体的には、Reading、Listening、Writing、TOEFL対策の授業を受講しました。それぞれの授業では、消化しきれないほどの大量の宿題が出ました。毎晩遅くまで図書館で宿題に取り組んだことは、当時は大変でしたが、今となっては良い思い出です。

## 各国の大学生との出会い

最も有益だったのは、世界中から集まってくる優秀な学生と知り合うチャンスを得たことです。このサマープログラムを通して、北京大、清華大、ソウル大、イエール大、カリフォルニア大といった世界の一流大の友人がたくさん出来ました。こうした友人とのネットワークは、将来役に立つという期待感のみならず、自分も「日本を代表して来ている」と感じさせてくれました。日本にいただけでは、こんなに多くの刺激的な友人は出来なかったと思います。

## 留学のすずめ

これを読んでいる皆さんにも、是非ともこうした体験を共有して欲しいと、強く感じます。単位の心配や、夏休みが短くなってしまふ、海外に馴染めるか不安、などたくさんの不安要素があるかもしれませんが、勇気を出して海外に出て欲しいと思います。そうすれば、きっと予想もしないような素晴らしい世界が広がっていると思います。



## 環太平洋大学協会（APRU）学生サマープログラム

氏名：木村 響

所属学部：教養学部

留学開始時の学年：2年

渡航先国名：中国

留学先：浙江大學

滞在期間：2011年7月上旬～2011年7月中旬（2週間）



## 多岐にわたる国際経験

環太平洋地域の27の大学から59名の参加者、そして浙江大学の学生が参加しました。今回のプログラムのテーマ「Developing Entrepreneurial and Innovative Talent in the 21st Century」にちなみ、浙江大學経営大学院の教授によるレクチャー、今成長している市内のIT企業への訪問、さらには武術や京劇、扇子作りなど中国文化の体験など、座学のみならず多岐にわたる経験ができました。この他に、プログラム終盤には2つの大きなイベントがありました。まず1つがビジネスコンテスト。全参加者が約6人ずつ10チームに分けられ、新たな「Internet related business」のアイデアを競い合いました。私のチームは様々な国籍のメンバーで構成される国際色豊かなチームで、マーケット分析から事業展開計画、財務計画に至る細部まで8時間近くの議論を経てプランを練りました。専攻も数学からマス・メディア論まで幅広かったためプラン作成過程では多様なアイデアが飛び交い、非常に面白い体験でした。そして2つ目が模擬国連。全参加者がG20会議の各国・国際機関代表に割り当てられ、インターネットとビジネスにまつわる問題について議論しました。パートナーと共にスピーチ原稿を作成したり、担当したトルコにおけるインターネット普及状況などを調べ現状の問題点を確認していく作業はやりがいがありました。

## 留学を通して見えたこと

「特定分野に偏らずまんべんなく勉強することの必要性」、そして「英語を使いこなせることの重要性」を痛感しました。他国ではダブルメジャーの学生が非常に多く、また英語を何となく使えず、日ごろ蓄積した幅広い知識に基づいて明快な意見を述べる他の多くの学生を目の当たりにしたことで、専門の枠を超えて幅広く勉強する意欲がより一層強くなりました。

## 留学を有意義にするには

このような貴重な経験を積むチャンスをつかむには、日ごろから留学情報の収集に努め、早くから準備を始めることで履修などの問題を回避することが大切です。また、それぞれのプログラムにはテーマがあります。テーマの関連知識を出発までに少しずつ蓄えておくと、現地での体験と自らの知識が繋がり、プログラムがより深く、有意義なものとなります。



## 留学経験者に聞く 交換留学Q&A

名前

山田 卓史さん

留学先

プリティッシュ・コロンビア大学

留学期間

2011年8月～2011年12月（4か月）

### Q1

留学に要した費用はどれくらいでしたか？

留学期間4か月の総額は100万円くらいでした。内訳は生活費60万円（15万円×4か月）、航空券代20万円、残り20万円は、教材費、旅行などの娯楽、雑費です。月額15万円の内訳は、家賃が6万円、食費が7万円、その他雑費が2万円です。外食が多かったので、自炊をすればもっと節約することができると思います。

### Q2

留学前の語学レベルはどれくらいでしたか？

留学前の語学力は、TOEFL iBTで100点程度でした。留学期間中を通して特に不自由はありませんでした。

### Q3

留学期間中、どのような学習をしていただくか教えてください。

中級ミクロ経済、中級マクロ経済、初等統計応用、国際関係理論、中国の軍事史などを履修・聴講しました。経済及び統計の授業は週2～3回の授業に加えて、問題を解くTAセッションが週1回ありました。このTAセッションを授業の復習として活用しました。どの授業も中間試験に加えて課題もしくは小テストが3～4回あり、これらの小テストに真剣に取り組むことで授業内容が定着しました。

### Q4

学習・研究面でのアドバイスをお願いします。

授業を通して現地学生の友達を作るのが良いと思います。日本の授業とは学習の方法等が異なるので、現地の友達に教えてもらいながら学ぶのが最も効率的だと思います。また、当然のことですが、とにかく授業に全て出席し、わからないことは先生に質問し、その日のうちにクリアしておくことが重要です。

### Q5

週末の過ごし方を教えてください。

週末は卒業論文の執筆をしていたので、あまり多くの活動はしていませんでしたが、現地の学生や留学生と、TEDという英語プレゼンテーションを聞きながらディスカッションをする、という取り組みを毎週行っていました。英語でディスカッションする練習になった他、さまざまなバックグラウンドを持つ学生の意見を聞くことができ大変役に立ちました。また、休暇を利用して西海岸を3度旅行しました。

### Q6

留学生生活を振り返っての感想をお願いします。

現地の学生及び世界中から集まる留学生と友達になれたことが大きな財産です。学生会議などで数日間会うだけではなく、同じキャンパスで共に生活を送ることによって見えてくる彼らの個性、それらと相対化して見えてくる自分自身の個性などを知れたのが貴重な体験でした。この経験を通して、より多様な価値観を受け入れることができるようになり、視野が広がったと思います。また、日本での大学生活やそれに伴う交友関係から一度切り離されて、勉強に4か月間たっぷり集中できたことも非常に意義が大きかったと思います。

全学交換留学

氏名：山田 卓史  
 所属学部：教養学部  
 留学開始時の学年：3年  
 渡航先国名：カナダ  
 留学先：プリティッシュ・コロンビア大学  
 滞在期間：2011年8月～2011年12月



多文化が共生する都市・バンクーバーでの留学生活

プリティッシュ・コロンビア大学（UBC）の最大の魅力の一つは、130カ国以上から留学生が集まっているキャンパスの国際性にある。留学生同士が交流するためのプログラムが充実しており、一学期のみの滞在ながら多くの友人を作ることができた。留学生活全体を通じて、異なる文化や考え方を持つ人々たちの生活や交流を通じて、自分が何を大切にしているか、何を生かして社会に貢献することができるのかを発見することができたのは大変貴重だった。

また密度の濃いUBCの授業に真正面から取り組んだことで身につけた知識や考え方は、今後の進路において大きく役に立つと感じている。

唯一の反省点としては、留学当初は慣れない生活でストレスが溜まりやすく、スケジュール管理などが甘くなってしまったことである。次に海外で勉強や仕事をする機会があるときは、今回の反省を生かして自己管理を徹底したい。

これから留学をする方には、具体的な目標を持ち、目標を実現するために何をすべきかを明確にして渡航してもらいたい。留学の動機は人によって異なるだろうが、限られた時間をどう活用するかをしっかりと考えて留学生活に臨めば貴重な経験が得られると思う。



イエール大学  
 夏期英語研修プログラム（ELI）

氏名：井中 美乃莉  
 所属学部：教育学部  
 留学開始時の学年：4年  
 渡航先国名：アメリカ  
 留学先：イエール大学  
 滞在期間：2011年6月～2011年8月



多くの可能性が待っています

大学公募のプログラムを利用してアメリカのイエール大学に留学しました。大学は町と一体化しており、キャンパスの周りには大学関連の施設はもちろん、カフェや雑貨店なども多くありました。大学関連施設としては中央図書館の他、各寮にも図書館があり24時間で開いていました。ジムや大きなホール等も整備されていて、スポーツや文化活動にも事欠きません。

プログラムを通じて多様なバックグラウンドを持つ友人たちができたことは私にとってとても大きな財産となりました。これまで知ってはいなかったもの実感や伴ってなかった知識が身近な話題として感じられるようになり、これまでは「他人事」だったことが、より自分に近いものとして捉えられるようになったのは大きな変化の一つだと考えています。一方で、元々の目標である英語の上達についてはまだまだ改善の余地があり、今後も留学する機会があればより長期のプログラムに挑戦したいと考えています。

留学に迷っている人は、ぜひその一歩を踏み出してみてください。私自身、行く前には語学レベルの面でも、その他の生活面等でも不安は多くありましたが、実際に行ってみると何とかなるものだなという実感を得て帰ってきました。不安に負けてせっかくの機会を逃してしまうより、少し怖くても一歩を踏み出してみることの大切さを改めてこの留学で教えてもらったように感じています。そこには多くの可能性が待っているはずですよ。



国際研究型大学連合（IARU）  
 Global Summer Program ①

氏名：福留 理恵子  
 所属研究科：大学院法学政治学研究科  
 留学開始時の学年：2年（大学院）  
 渡航先国名：デンマーク  
 留学先：コペンハーゲン大学  
 滞在期間：2011年7月中旬～2011年8月上旬



自分の可能性を信じて下さい

デンマークは高福祉や環境問題についての先進的な取り組みで有名な国です。またそれと同時に国民幸福度世界1位の国です。特に印象に残っているのは、自転車に配慮された交通ルールや自然光を取り入れるようにデザインされた開放的なオフィスや公園で友人や家族とピクニックを楽しむ人々の様子です。

コペンハーゲン大学での授業については、自然科学系分野の講義での英語の専門用語に苦労しました。特に、デンマーク人とオーストラリア人とシンガポール人と一緒に取り組んだグループプレゼンテーションでは、当初は話し合いについていくことがやっとなかなか内容に貢献できず悔しい思いもしました。しかし、グループメンバーに恵まれたこともあり、互いに助け合いながら自分の分担については責任を持って取り組むことで、プログラムの最後にあったプレゼンテーションを成功させることができました。

留学中は積極的に人と交流することをお勧めします。留学して一定期間その社会に身を置き生活することで、観光旅行では体験できないような貴重な経験をすることができます。特に人との交流という点では、慣れない土地であっても自分の殻にこもってしまわないで、機会があれば大学の主催するイベントに参加するなど積極的に行動することで得られるものは多いと思いました。多少の語学面の不安があっても、恥ずかしがらずに積極的に自分から人に話しかけていくといいと思います。留学中にどんなに恥をかいてもそれは一時の恥にすぎません。自分の可能性を自分で潰してしまわないことの方が大切だと思います。

国際研究型大学連合（IARU）  
 Global Summer Program ②

氏名：近藤 辰也  
 所属学部：教養学部  
 留学開始時の学年：4年  
 渡航先国名：イギリス  
 留学先：オックスフォード大学  
 滞在期間：2011年7月



確固たる目標と覚悟をもって

歴史のある建物と最先端の施設を有する世界でもトップクラスのオックスフォード大学にて、エクセターカレッジというートルキンも在籍した寮で生活しつつ、学業に追われ週末も図書館に缶詰、ということも珍しくはない日々を過ごした。このときは就活を終えており、もっぱら『世界の優秀な頭脳、将来のグローバルリーダーと切磋琢磨する』経験を積み将来に活かす目的であったから、ノンネイティブのハンデを背負い苦しくはあったがその苦しみも望むところであり、ハリのある日々であった。学習した内容はまさにインターディシプリンであり、大学特有の論理と議論を重視するスタンスに感化された。議論の場が古式ゆかしい大学の教室から同じく歴史あるパブへと移り、その後見つけた課題を胸に深夜24時間空いている最先端のパソコンルームへと向かい一人で議論の続きを反芻したものである。

2010年には初の海外経験として、1年間、教養学部の交換留学制度・Aikomを利用してニュージーランドのオタゴ大学に留学していた。この二つの留学経験には異なる色合いがあるが、一言で言えばIARUの学びは短期間ながら学際的かつ厳しい一学寮内で完全に管理された生活は楽かつ不自由といったところだろうか。皆さんには、『かっこいいから』ではない具体的かつ建設的な目標を持ち、様々な留学への門を用意してくれている東京大学のうまみを存分に吸い取って欲しい。私は二つのプログラムを通して奨学金を受給できた。その上で、世界最高峰の学びを体験できた。厳しいことは承知の上で、確固たる目標と覚悟をもって挑む後輩が増えることを願っている。



国際研究型大学連合（IARU）  
 Global Summer Program ③

氏名：持田 雄太郎  
 所属学部：法学部  
 留学開始時の学年：3年  
 渡航先国名：コスタリカ  
 留学先：国連平和大学(カリフォルニア大学パークレー校)  
 滞在期間：2011年6月～2011年7月



仲間との出会い

IARUのGSPプログラムでコスタリカの国連平和大学で学びました。コースのテーマは「人間の安全保障と平和構築」。拡大する世界の危機に対して、今までの国家中心の安全保障の考え方から、人間を中心とした安全保障のあり方について学ぶという内容でした。コースは全部で5週間、初めの3週間は国連平和大学のキャンパスで学び、残りの2週間は初めの3週間で学んだことを実地で活かすことを目的としたボランティアによって構成されていました。本コースでは毎日リーディングの課題やプレゼンの準備・ペーパーの作成などで比較的忙しかったですが、それでも時折他の参加者と夕食を食べに出かけたり、休日にはいろいろなアクティビティーに参加したりと他の国からの参加者と交友を深めることが出来たのは非常に有意義だったと思います。またコスタリカという、中米の一小国でありながら平和憲法を持ち、軍隊を一切持たないことで国際政治上のプレゼンスを確保してきた国で平和を考えることは、他のどの国で勉強するよりも多くの実りを得ることが出来たと思います。

僕がコスタリカで学んだのはせいぜい1ヶ月に過ぎませんが、それでも日本の教育以外の教育環境を体験できたのはよい経験でした。さらにいえば、欧米とは違う国で勉学に励むということも欧米の教育機関では気づくことの出来ないことを気づききっかけになるかもしれません。そして何より他の国から来た同年代の学生と共に過ごすというのは今後大きな糧になると思います。興味があれば是非検討してみてください。



国際研究型大学連合（IARU）  
 Global Summer Program ④

氏名：末松 環  
 所属学部：理学部  
 留学開始時の学年：3年  
 渡航先国名：オーストラリア  
 留学先：オーストラリア国立大学  
 滞在期間：2011年7月～2011年7月



自信につながる留学経験

オーストラリア国立大学でInternational Environmental Policyをテーマとした3週間のプログラムに参加しました。IARU加盟大学のすべてから学生が参加しており、文化的にも学術的にも背景の異なる多くの学生と交流し世界中に友達をつくることができました。参加者の背景の多様性もあり、GSPでのディスカッションでは自分からは出そうもない意見が聞け、逆に日本だったら当たり前だと思われるような事も興味深い意見として取り入れてもらえ、活発な議論ができたと思います。テーマは専攻と直接関係がなかったため、とても新鮮に感じられ多くを吸収することができたと思います。参加するまでは不安もありましたが、現地ではなんとかGSPで出された課題も他の参加者と同様にこなし、ディスカッションでも積極的に参加でき、自分も海外の学生とやっていけるという自信になりました。

この留学体験は迷っていた進路を考える上でとても参考になり、残りの大学生活をより有意義に過ごすのに役立ったと思います。また、GSPを通してもっと自信を持って日本で勉強できるようになったと思います。留学は大変な事も色々ありますが、特にまだ進路に変更がきく学部生の内は積極的に検討して欲しいと思いました。特に短期留学は海外を比較的気軽に体験できる素晴らしい機会だと思うので、是非これを生かしてもらえればと思います。



# 東大生 × 国際交流 Go Global 2012

## 自分をためす



## 02 海外インターンシップ

### 企業・団体等での体験・研修

#### 01 特徴は？

海外の企業や団体で実務を通して専門知識やビジネススキルを身につけることができる研修です。実用的な英語力や国際感覚を養うことが期待されます。有給と無給のタイプがあります。

#### 02 どんなインターンシップがあるの？

- ① **ビジネスの現場での研修**  
海外の企業でのマーケティングや事務作業、プロジェクトの運営などの実践活動に携わります。その他、先進的なIT企業でプログラミングや情報処理、システム開発の実践に携わるなどの研修もあります。
- ② **途上国開発の現場や国際機関、教育機関での研修**  
発展途上国の国や地域で活動するNGO・国際機関、その他教育機関等で働きます。

### 大学・研究機関等での体験・研修

#### 01 特徴は？

理系の学生を対象にした、自身の専門分野の知識やスキルを活かすことのできる科学技術に関する研修です。一定の期間、海外の機関（大学・研究所・企業の研究機関等）で働きます。自身の専門性を高めるとともに、国際社会への適応力を養います。有給（滞在費支給）の場合が多いです。

#### 02 専門をはじめたばかり、あるいはこれから専門に進む状況でも大丈夫？

科学技術型インターンシップの場合には、派遣を希望してから実際に研修を行うまで、半年以上かかることが多いです。先方の希望する分野との整合性を確認しながら派遣先を決めてゆくためです。実際の研修の時には専門がある程度身につけていることが望ましいです。

#### 03 どんなインターンシップがあるの？

電気電子、情報、機械、航空、土木、環境、物理、化学、生物、農学、薬学、経営工学など、さまざまな理系分野から大まかに方向を選びます。また海外の受け入れ機関や部署に応じて、研究、開発、技術習得などの研修形態があります。

### もっと詳しく知りたい人は……

#### 01 アイセック・ジャパン (AIESEC in Japan)

スラムで支援にあたるNGO、BRICsなどの国の成長激しい企業。アイセックはこのような世界中のリアルな社会に入り込む「海外インターンシップ」を提供しています。途上国開発・ビジネス・ソーシャルビジネス・教育をテーマとする勉強会などでの万全の準備を提供します。グローバルな協働と社会への学びを得た「タフな東大生」。そのプラットフォームとして50年間活動してきたアイセックを利用してみませんか？



URL : <http://intern.aiesec.jp/>  
Email : [info@aiesec.jp](mailto:info@aiesec.jp)

#### 02 イアエステ (IAESTE)

イアエステは理系の国際インターンシップを実施する世界最大の国際プログラムであり、またそれを行う団体です。国連ユネスコなどと協調して事業を進めています。イアエステ・ジャパンからの派遣先はヨーロッパの国々を中心に、アジア、アメリカ、アフリカなど世界各国です。また、研修期間も多様で8~52週間の幅があり、夏季休暇を利用して休学することなく国際インターンシップに行くことが可能です。東京大学の派遣学生はこれまで数多く、たとえば宇宙飛行士として有名な野口聡一さんも学生時代にこのイアエステ・インターンシップを経験しています。派遣を希望する学生は、毎年11月ごろに行われる認定試験(夏~秋に募集)を受験し、派遣候補生になってください。

詳しくは、東京大学イアエステ・ポータル (<http://www.iaeste.t.u-tokyo.ac.jp/>)をご覧ください。

東京大学イアエステ  
URL : <http://www.iaeste.t.u-tokyo.ac.jp/>  
Email: [committee@iaeste.u-tokyo.ac.jp](mailto:committee@iaeste.u-tokyo.ac.jp)



# 東大生 × 国際交流 Go Global 2012

## 世界に貢献する



「トルコの国際ワークキャンプの1コマ」

## 03 国際ボランティア

### 01 国際ボランティアとは？

世界各国における経済・社会の発展、復興への寄与、友好親善・相互理解等を目的として現地で活動することです。

### 03 国際ボランティアによる渡航先は安全ですか？

各国際ボランティアの実施団体は、実施国の安全面に配慮していますが、渡航先が発展途上国が多いということから一概に安全とは言い切れません。東京大学の『海外渡航危機管理ガイドブック』を参考にし、渡航先ではいつも以上に気を配り安全に過ごせるように気をつけましょう。外務省ホームページ“各国安全情報”や厚生労働省検疫所ホームページ“海外で健康に過ごすために”等の情報を得ることが必要です。

### 02 国際ボランティアの魅力は？

留学をする場合にかかる費用や時間、インターンシップにおいて求められる語学力や経験と比べると国際ボランティアの場合は、より参加しやすくなっている場合もあります。自発的な意思により社会に貢献する活動を共に行い、交流することで、参加者間で文化や言葉の壁を越えて交流を深めることができます。

### 04 どんなボランティア活動があるの？

ボランティアと一言で言ってもその活動内容は多種多様です。例えば、特定非営利活動法人日本国際ワークキャンプセンター（NICE）では、①人道支援、②地域開発、③環境保護、④文化遺産保護と幅広くボランティアを受け付けています。数あるボランティアプログラムの中から自分に合ったプログラムを見つけましょう。

### もっと詳しく知りたい人は……

#### 01 国際協力機構（JICA）

JICA（理事長：田中明彦 前東京大学副学長）は、青年海外協力隊事業を実施しています。青年海外協力隊は、日本政府のODA予算によりJICAが実施する事業で、途上国の住民と直接交流しながら、その国が抱える課題に取り組み、経済や社会の発展に貢献することを目的としています。募集は年2回行われ、派遣国は開発途上国約75か国で、活動職種も120以上と多岐にわたります。応募できるのは応募時20～39歳で日本国籍を持つ方です。JICAは往復旅費、現地生活費等を負担します。また企業等がグローバル人材として積極的に協力隊経験者を採用する事例が増えています。

URL（JICAトップ）：<http://www.jica.go.jp/>  
URL（青年海外協力隊）：<http://www.jica.go.jp/volunteer/application/seinen/>



#### 02 国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部

CIEEは、教育を通して国際交流を図り人類の相互理解を促進することを目的に1947年に創設された非営利法人です。世界40か国に400名のスタッフを擁し、年間4万5千人に上る若者や教員がCIEEのプログラムに参加しています。主に、大学生を対象とした国際教育、体験、交流プログラムを中心に、新しい時代のニーズにも応じて、海外でのボランティアや就業体験（インターンシップ）プログラムの企画・運営の他、日本国政府より委託された国際交流に関する調査・研究、教員を対象とした派遣研修、受入プログラムへの協力などを実施しており、活動は多岐にわたります。また、CIEEは、TOEFL®テスト日本事務局として英語力向上の支援をするとともに、実践的な英語コミュニケーション能力を鍛え、異なる文化やことばをもつ世界の人々との理解を深め、人との出会いの大切さや感動を実感できる国際交流プログラムを提供しています。



CIEEが取り扱う海外ボランティアは ①国際ボランティア・プロジェクト（世界中から集まった仲間と行う活動） ②エコ・ボランティア（オセアニアで環境保護に特化した活動） ③ボランティア&ホームステイ（ホームステイをしながら地域密着型の活動）の3タイプがあります。それぞれ特徴があり、活動内容、派遣国、時期、活動日数により選ぶ事ができます。CIEE東京事務所（最寄駅：表参道又は渋谷）では、海外ボランティア説明会（CIEEのHP参照）を、ほぼ通年で毎週実施しております。興味がある方は、是非、説明会にも足をお運びください。

URL：<http://www.cieej.or.jp> Email：[info@cieej.or.jp](mailto:info@cieej.or.jp)

#### 03 日本国際ワークキャンプセンター（NICE）

NICEは、「カラフルでヘルシーな世の中」を目指して日本を中心に各種ワークキャンプを主催するNGOです。国際ワークキャンプとは、その地域の抱える固有の問題を解決するため、世界中から集まった仲間と2～3週間、寝食を共にしながら地域の人たちと行うボランティア活動です。2011年は1061人の日本人ボランティアが海外・日本各地で活躍しました。一例として、ケニアの学校で環境教育、フィリピンでマングローブの植林、また国内では静岡で廃村復活のための森の手入れのプログラムなど、年間約100ヶ国3000プログラムの中から選べます。国籍の違う仲間とともに生活し、笑い、語り合うことだからこそ得られる成長が待っています。ベトナムで参加したメンバーからは、「こんなにエキサイティングでドキドキワクワクな経験は初めてでした。この経験を終わらせてすごく自信ができました。この先、なんでも、どこでもやっていけるんじゃないかと思ってしまうくらいです。」、インドで参加したメンバーからは、「現状を目の当たりにし今後自分ができること、しなければいけないことを考えていきたいです。」といった声が寄せられています。



参加費は、初参加海外：38,000円、国内：29,000円。必要なのは、やる気と行動力、そしてカタコト以上の英語力のみです！

URL：<http://www.nice1.gr.jp/>

## 海外インターンシップ (AIESEC)

氏名：馮 年

所属学部・学年：教養学部総合社会科学科国際関係論分科 4 年

渡航先国名：ブラジル

インターンシップ先：Kawasaki Motores do Brasil Ltda.  
(カワサキモーターズ/ブラジル支社)

滞在期間：2011 年 5 月～2012 年 3 月 (10 か月)



## 地球の裏側にふれて

はじめまして。ブラジルはサンパウロ在住、日系企業の海外支社でインターンをしてきた馮年です。ブラジルは国というより大陸と言った方がいいかもしれません。地域によって人種、文化、発展度合が全く異なるからです。サンパウロは南米最大の経済都市として発展しており、オフィス街は一見東京と遜色ありません。移民や混血が多く、人々が開放的です。意気投合する敷居が低い一方で、本当に打ち解けて真の意味での「アミーゴ」になるのは難しいです。

研修内容は、二輪車市場のマーケティングが主でした。具体的には、自社・競合他社分析などの市場調査から顧客分析調査まで、マーケティングに必要な調査・分析・データ作成業務を負っていました。同僚は殆どがブラジル人で、皆英語を話せません。そのため、会話はポルトガル語一択となり、当初は苦労しました。今では英語を話そうとすると都度ポルトガル語が邪魔をしてきて困っています。また、定時に帰るブラジル人を尻目に日本人らしく残業することが多かったのですが、たまに定時退社することもありました。すると夜にプライベートの時間が文字通り十二分に確保できることに気づき、驚きました。ブラジル人はこの小さな休暇を利用して夜間学校に通ったり（学業と仕事の両立は当たり前）、友人と飲んだり、恋人と観劇したりして各自の私生活を充実させているようです。週末は家で読書をした他、友人とシユラスコ (BBQ) をしたり、旅行に行きました。20 都市ほど訪れましたが、正直回りきれません。ブラジルは大陸と言われる所以がここにもあります。

研修を通して、二つの価値観が変わりました。1つ目は、正解は一つではないということです。ブラジル人は、若い頃から主体的に行動し、流されることなく職業を取捨し、人生を選択します。以来、何事にも正解があると思ひ込み、自分の意見より「正解」を出そうとする日本的な在り方に疑問を抱くようになりました。2つ目は、世の中は思っているほど綺麗ではないと分かったことです。人間はエゴで動くということが、欲望に素直なブラジルで顕著に観察できました。同時に、外へ出たことで、日本国内の事情を客観視できたのも大きいと思います。笑顔で向き合いながら後ろ手にナイフを隠すような、醜いエゴを綺麗に飾る表面。それに惑わされず、物事の本質を見抜くことの大切さ、難しさを痛感しました。

この二点は、物欲の強いブラジルで実感しやすいかと思います。どこへ行くにせよ、海外へ出る上で大切にしたいのは、「考える」習慣です。異文化の生活は数々の刺激に溢れています。ただ楽しむだけでなく、その刺激を受けて自分の中で何が変わって何が変わらなかったのかを考え抜くことで、海外経験をより実り多きものにできるのではないのでしょうか。



## 国際ボランティア (NICE)

氏名：長井 奏貴

所属学部・学年：農学部応用生命科学課程生命化学・工学専修 3 年

渡航先国名：アイスランド、ドイツ、フランス、インド (ボランティア参加国)

ボランティア先：FSL India

滞在期間：2011 年 5 月～2011 年 12 月 (7 か月)



## 挑戦することを忘れてほしい

私は、2011 年度休学を利用し、日本国際ワークキャンプセンター NICE の主催する「ぼらいやー」というプログラムに 5 期生として参加した。このプログラムは、1 年間海外を旅しながら複数の国際ボランティアに参加していく、というものなのだが、今回はその中でも長期のボランティアに参加したインドでの体験をレポートしたい。

私は南インドのクンダブラという小さな村で、ウミガメ保護のプロジェクトに取り組んだ。このプロジェクトにはドイツ人学生とスロバキア人の社会人がともに参加しており、さらに同じオフィスで働くのは地元インド人からカナダ人まで、まさに国際色豊かなメンバーであった。

活動内容は、主に 4 つ。ウミガメの卵を外敵から守ること。産卵や孵化後の巣の様子を調査し、統計データにまとめてウミガメ保護団体やインド政府に寄与すること。地元漁師の嗜好品としての卵の捕食を止めることに理解を得ること。子供への環境教育を通して、ウミガメの誤飲事故につながるゴミのポイ捨てなどを止めさせること。特に教育に関しては、急速に発展するインドにおいて、環境に配慮した発展を目指してほしいという、近代社会の教訓から学んだメッセージを込めて取り組んだ。それぞれの活動で、多様なメンバーと特技を活かしあって取り組み、非常に楽しかった。

日常生活では、地元インド人の家庭にホームステイさせていただき、インドのローカルライフを体験することができた。トイレでは紙を使わない、停電・断水が頻繁に起こるなど、日本との違いによるショックもさることながら、長期滞在するうちに物質にとらわれない無所有の喜びをも感じることができた。毎週末はボランティア仲間と列車で観光に出かけた。ここで出会った仲間と過ごした時間は一生忘れ得ないだろう。

活動を通して、国際グループのモチベーションを保つための目標設定、ゴールの共有の仕方や、論理に基づいた議論の仕方など、大いに学びとれた。また旅全体を通しては、世界各地でのローカルライフの経験から得た、全球的に物事を捉える視点、そしてなにより世界中にできた友人たちとの思い出が、これからの自分を形作っていく礎になるだろうと確信している。

最後になるが、これから海外を目指す皆さんには、チャンスを逃さずに何にでも挑戦することを忘れてほしい。何かに挑戦して失うものより、得るものの方が大きいのなら、恐れず挑戦してほしい。皆さんの健闘を祈る。



# 東大生 × 国際交流 Go Global 2012

## 情報を集める



## 04 関連情報

留学したいけど  
何から始めたらよいの？

どれくらい  
お金がかかるの？

留学しても  
就職できるの？

語学力は  
どれくらい必要？

留学は早期に情報収集をはじめることが重要です。留学を計画する際に直面する疑問、質問にお答えするため、東京大学では各種留学フェアや説明会の開催のほか、海外留学ホームページ、Twitter、Facebook 等を活用し、情報提供の充実を図っています。また、皆さんが所属する部局の担当部署で留学や国際交流に関する質問にお答えします。

### ◆東京大学本部国際交流課

#### ■留学フェア（4月～6月頃）

留学プログラム、奨学金、語学資格 について必要な情報を得ることができます。留学経験者の体験報告会も開催しますので、体験者から直接話を聞くことができます。

■留学・インターンシップ・ボランティア 説明会（適宜開催）  
外部団体を招き留学、インターンシップ、ボランティアについての説明会を実施します。

Email: [studyabroadfair@ml.adm.u-tokyo.ac.jp](mailto:studyabroadfair@ml.adm.u-tokyo.ac.jp)

### ◆所属する部局の担当部署

■皆さんが留学する上での諸手続き（書類提出、学籍異動等）は、所属する部局で行う必要があります。

留学・国際交流のことでわからないことがあったらまずは所属部局の担当部署に問い合わせてください。

### ◆国際センター

本郷オフィス

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_06\\_05\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_06_05_j.html)

駒場オフィス

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02\\_01\\_32\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_32_j.html)



### 海外留学ホームページのご案内

このパンフレットの内容を含め、より詳しい留学情報や最新の留学プログラム情報が海外留学ホームページで入手可能です。留学の情報収集は海外留学ホームページからスタートしてください！

URL : <http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/index.html>

### Twitter 及び Facebook アカウント開設のご案内

東京大学本部国際交流課では、新たな情報発信手段としてソーシャルメディアである、Facebook と Twitter の公式アカウントを開設しました。留学及び国際交流に関する情報をより多くの方々にお伝えするためのツールとして今後活用していきます。

Facebook : <http://www.facebook.com/todai.go.global>

Twitter : @todai\_global

## 学籍について

留学、インターンシップ、ボランティア等により海外へ渡航する場合には、所属する部局の担当部署に事前に相談してください。学籍上の手続き(留学願、休学願、海外渡航届など)が必要な場合があります。学籍上の取扱いによって、授業料納入の有無や単位互換の可否が異なりますので注意してください。

### 01 海外渡航の際の主な学籍上の手続き

「留学」：留学の手続きをとる 「休学」：休学の手続きをとる

上記の手続きをとらず、「在学」のまま海外渡航する場合は、必要に応じて海外渡航届などの手続きをとる。(例：夏季休業期間を利用し、海外大学のサマースクールなどに参加する場合等)

### 02 学籍上の「留学」と「休学」の違い

「留学」の手続きによる場合と、「休学」の手続きによる場合の違いについて、以下に大まかなチャートを示しますので、参考にしてください。

|               | 「留学」の手続きによる場合<br>(交換留学)    | 「留学」の手続きによる場合<br>(交換留学以外)  | 「休学」の手続きによる場合               |
|---------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 留学先大学での「単位」取得 | 可                          | 可                          | 可                           |
| 留学先大学での「学位」取得 | 不可                         | 不可                         | 場合により可                      |
| 留学先大学での授業料    | 払わない                       | 払う                         | 払う                          |
| 本学での授業料       | 払う                         | 払う                         | 払わない(ただし、休学開始時期にもよるので注意が必要) |
| 修業年限          | 算入される                      | 算入される                      | 算入されない                      |
| 本学での単位認定      | 可<br>(ただし、所属学部・研究科が承認した場合) | 可<br>(ただし、所属学部・研究科が承認した場合) | 不可                          |

※留学先大学で取得した単位の本学における認定については、事前に所属部局の担当部署に相談してください。

## 語学について

留学する場合、留学先大学が求める語学能力の基準を満たす必要があります。主な英語能力試験は以下の通りです。

|     | TOEFL iBT   | IELTS  | TOEIC                                 | 英検   |
|-----|---|--|---------------------------------------|--|
| 概要  | 英語を母国語としない人の英語運用能力を測るためのテスト。米国を始め世界各国の大学等で英語力の証明として利用されている。 | イギリス、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、カナダなど英語圏への留学や移住を目指す人の英語力を判定するテスト。 | 英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテスト。     | 日本最大の英語検定試験のひとつ。大学、高校受験時に英検取得者を優遇する学校や英検を単位として認定する大学もある。 |
| スコア | 0~120点  | 1.0~9.0  | リスニング495点満点<br>リーディング495点満点           | 1級、準1級、2級、準2級、3級、4級、5級の7つの級                              |
| 試験日 | 年間30~40回実施  | 東京は毎月2回実施  | 年8回実施                                 | 年3回実施  |
| 受験料 | US \$210<br>締切日によって受験料が異なる。                                 | 24,675円  | 5,565円                                | 1級7,500円~5級1,400円と幅がある                                   |
| その他 | 留学する学生に広く利用されている(主に米国)                                      | 留学する学生に広く利用されている(主に英国)                                       | 就職活動に広く利用されているが、海外留学には利用できない場合が多いので注意 | 海外留学には利用できない場合が多いので注意                                    |

## 奨学金について

留学する際に応募可能な奨学金はこちらです。

### 01 東京大学独自の奨学金

| 奨学金名                                | 対象・概要   | 支援内容  |
|-------------------------------------|---|---|
| 東京大学学術交流活動等奨励事業<br>海外派遣奨励費(海外留学支援金) | 学部生・大学院生対象。3か月以上海外修学を行う者への助成プログラム。                                  | 奨励費月額8万円。欧米等地域により月2万円上乘せ。さらに「留学」手続きによる授業料不徴収でない大学への修学の場合は月4.5万円上乘せ。支給期間は3か月~1年。 |
| 東京大学学術研究活動等奨励事業<br>(国外)             | 大学院生対象。国外における学会報告、研究調査等を行う者への助成プログラム。                               | 渡航先により10万円、15万円、20万円。   |
| 東京大学学生団体による国際交流活動等奨励事業              | 国外における学生主体の国際交流活動に参加し、交流活動を行う東京大学の学生により編成されたグループ、チームなどの団体への助成プログラム。 | 参加学生の渡航に要する費用の一部(エコノミークラスのディスカウント航空運賃を基準)。1団体の上限は、200万円。                        |

### 02 東京大学による推薦が必要な学外団体等による奨学金

| 奨学金名                              | 対象・概要  | 支援内容  |
|-----------------------------------|--|---|
| 公益法人ヤマハ奨励機国際友好基金<br>(海外派遣日本人留学生)  | 大学院生(理工学系課程)対象。大学院進学内定者も申請可。学生交流を含む協定・覚書に基づき留学する学生への奨学金。     | 奨学金月額10万円。支給期間1年以内。                               |
| (財)佐藤陽国際奨励財団派遣留学奨励学生              | 学部生・大学院生対象。財団の定める対象国(東南アジア中心)に所在する大学へ、大学間交流協定に基づき留学する者への奨学金。 | 奨学金月8万円、往復渡航券、交換留学準備のための一時金10万円。支給期間は6か月以上12か月以内。 |
| (財)KDDI財団日本人海外留学生助成プログラム          | 大学院生(申請時)対象。海外に留学する者への奨学金。                                   | 奨学金年額200万円。支給期間は1年間。                              |
| (財)竹中育英会海外留学奨励学生                  | 申請時に本学正規課程に在籍する者対象。  | 授業料上限300万円、滞在費・渡航費等年額100万円上限。支給期間は原則修士2年、博士5年以内。  |
| (財)国際文化教育交流財団日本人海外派遣奨励学生          | 大学院生対象。環境分野専攻の学生優先。海外の大学院等への留学をする者への奨学金。                     | 授業料(実費)、生活費補助(定額)、教材費、往復航空費等。                     |
| (財)吉田育英会日本人派遣留学プログラム              | 大学院生及び研究者対象。海外の大学院等に留学する者への奨学金。                              | 生活滞在費月15万円、留学先学校納付金250万円以内、住宅費補助、往復渡航費。支給期間は2年以内。 |
| (財)アジア国際交流奨励財団川口静記念奨励学生           | 学部生・大学院生対象。アジア各国の大学へ留学する者への奨学金。                              | 奨学金年額48万円(月額4万円)。支給期間1年以内。                        |
| (財)国際文化教育交流財団「経団連グローバル人材育成スカラシップ」 | 学部生・修士課程学生対象。海外に8か月以上1年未満留学する者への奨学金。                         | 奨学金年額100万円。支給期間は8か月以上1年未満。                        |

### 03 日本学生支援機構による奨学金

| 奨学金名                             | 概要   |
|----------------------------------|--|
| 日本学生支援機構留学生交流支援制度(長期派遣)<br>(給付型) | 修士又は博士の学位取得を目指し、海外の大学に1年以上留学する学生を対象とした奨学金。奨学金月額9.3万円以上(渡航先によって金額異なる)。  |
| 日本学生支援機構留学生交流支援制度(短期派遣)<br>(給付型) | 東京大学の協定校に交換留学生として3ヶ月以上1年以内の期間留学する学部・大学院生が対象。奨学金月額8万円。  |
| 日本学生支援機構第二種奨学金(海外)<br>(有利子貸与型)   | 海外の大学および大学院の正規課程(学位取得課程)への留学を対象とした、貸与型の奨学金。貸与月額3万円・5万円・8万円・10万円・12万円の選択制。  |
| 日本学生支援機構第二種奨学金(短期留学)<br>(有利子貸与型) | 海外の短期大学、大学、大学院への短期留学を対象とした貸与型の奨学金(3ヶ月以上1年以内)。ただし、交流協定等に基づく留学、留学先の修得単位が帰国後認定される留学及び大学院生の外国の大学院等で研究目的とする留学が対象。貸与月額3万円・5万円・8万円・10万円・12万円の選択制。 |

※詳細は、日本学生支援機構ホームページも参照して下さい。www.jasso.go.jp

### 04 3ヶ月未満の留学への奨学金

| 奨学金名                       | 概要   |
|----------------------------|--|
| FOTI(Friends of Today) 奨学金 | 米国大学での2012年夏季プログラムに参加する東京大学の学生対象(学部学生・大学院生)。奨学金3,000~4,000ドル |

※各奨学金の支援内容はH23年度の実績であり、変更になる可能性もあります。



# Go Global 2012✈ 東大生 × 国際交流

編集・発行／東京大学本部国際交流課  
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-24-5 角川本郷ビル

URL／<http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/index.html>  
問合せ／[studyabroadfair@ml.adm.u-tokyo.ac.jp](mailto:studyabroadfair@ml.adm.u-tokyo.ac.jp)

